第三号　令和四年一月十四日発行

五高だより

情報満載のホームページも御覧ください。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年から五高だよりを作成しお届けしております。御愛読ありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。現在、オミクロン株が東京でも徐々に増加する傾向にあります。その中でも引き続き感染対策を行いながら教育活動に取り組んでまいります。阿伎留神社に参詣し、この状況が一日も早く落ち着くよう祈願いたしました。

初ボルダリング地域交流会を実施

十一月二十日、アウトドアコースの生徒が半年前から準備をしてきた地域交流イベント「ボルダリング地域交流会」を開催しました。五日市保育園、五日市わかば保育園、五日市小学校の三団体五十六名が参加してくれました。生徒たちはこれまでに、チラシやポスターの作成、申込方法の検討、どのように言えば分かりやすく伝わるか、園児や児童へのお土産を何にするかなど、チームに分かれて準備を進めてきました。一人一人が不安を抱えながらのスタートでしたが、園児や児童を前にすると笑顔での対応ができました。不慣れな面もありましたが怪我もなく、大勢の幼児・児童が楽しかったと話してくれました。付き添いの保護者からも、「初めてのボルダリングでしたが、高校生のサポートで目標まで登れてとても嬉しそうでした。」「生徒たちの子どもへの接し方がとても丁寧で優しく、安心できました。地域の高校との接点を作っていただけたという点でも良かったです。」との声を頂きました。

ボルダリングの他に行った、木のメダル作成、多摩産材使用の文字入れ、クルミの殻を使った小物作成等のワークショップでも、園児たちは興味のあるブースに行き楽しんでいました。

生徒たちは、園児、児童や保護者の方と触れ合う中で、伝え方や接し方など普段の授業では体験できない多くのことを学ぶことができました。地域に根差していることを肌で感じ、「地域を愛し地域に愛される五高生」に一歩近づきました。

マラソン大会　最後まで粘り強く

十一月十九日、二年ぶりに五日市高校恒例のマラソン大会を実施しました。五日市ならではの自然豊かな地を走ります。

今年は密を避けるため、例年とは異なり学年ごとの開催となりました。

男子は七km、女子は四kmを走ります。これまで体育の時間で練習を積み重ねてきましたが、生徒にとっては厳しい行事です。最後まで諦めず、全員が完走しました。友人と励まし合いながら、ゴールの手前まで全力で走っていた姿が素敵でした。表彰式では男子・女子それぞれ三位までの入賞者を表彰しました。自分に限界を設けず、全力で走り切った仲間に拍手を送りました。マラソン大会を通じて、「最後まで粘り強く諦めない」ことの大切さを学ぶことができたのではないかと思います。

合唱祭　皆で力を合わせて

十二月十七日、秋川キララホールにて合唱祭を行いました。学年別の開催ではありましたが、各クラスで練習してきた成果を出し切り、精一杯歌いました。

今年は教室で一度に歌える人数が制限され、感染対策をしながら、短期間での練習となりました。本番でも舞台上では前後左右の間隔を空けて合唱すること、伴奏者の練習時間も限られる中、伴奏をCDで対応せざるを得ないクラスも多く、異例尽くしとなりました。金賞を受賞したクラスの演奏はどれも胸を打つ素晴らしいものでした。惜しくも入賞しなかったクラスも、努力や工夫の跡が見られ、改めて生徒の皆さんの可能性を感じさせられました。

一、二年生の皆さんは来年度に向けて今回の経験を生かしていきましょう。

マネジメント類型
西多摩地区で多摩産材エコツアーを実施

十二月九日、マネジメント類型では、多摩産材について専門家から現地で学ぶ多摩産材エコツアーを実施しました。バスを一日貸し切り、檜原村のフォレスティングコテージや遊学の森、東京で唯一の原木市場がある日の出町の多摩木材センター協同組合、その木材を仕入れて製材する中嶋材木店に訪問し、最後に武蔵五日市駅の駅舎で使われている多摩産材について話を聞くといったツアーでした。

6月に多摩産材の出前授業の一環として実施した秋川木材協同組合の高濱さんが中心となって企画してくださいました。テーマは「気付き」。車中でも自然や町の特徴などの話を聞くことで、当たり前のように見ている風景がいつもと違って感じられました。

生徒は遊学の森の急勾配に苦戦しながらも、「東京の山の特徴を分かってほしい。」「東京の林業に携わる方々は、このような厳しい環境の中で働いている。」高濱さんからの話に真剣に耳を傾けていました。

このツアーで、木の生産から仕入れ、加工して販売する流れを学習するとともに、林業の重要さを肌で感じました。

今年は、多摩産材のワークショップを企画し、文化祭等で模擬販売を行うなどの取組を行いました。今回感じたことを、社会に還元できるようにしっかり学習に生かしていきます。

ボルダリング公開講座
都立学校唯一の施設

十一月から十二月にかけて、あきる野市教育委員会の後援をいただき、初めて地域の方を対象とした全五回の公開講座「はじめてのボルダリング講座」を本校で実施しました。

参加者七名は、ボルダリングジムを経営している専門家の指導の下、基礎基本から丁寧に教えてもらいました。本校ボルダリング部の部員が講座の準備や受講者のサポート等を行いました。最終回には、各自で課題を決め制限時間内に一番上のゴールを目指すチャレンジをし、見事全員達成することができました。

今年も秋にボルダリングの公開講座を実施する予定です。時期が参りましたらお知らせしますので、奮って御参加ください。

テスト前にも皆で学び直し対策

日頃も行っていますが、考査の前にもテストに向けた三教科のテスト対策学び直しを実施しています。生徒は事前に国数英の中から希望する教科を選び、各クラスに分かれ勉強すべき単元を学び直します。十二月は特に数学の希望者が多く二次関数や確率の問題を生徒同士で教え合いながら解いていました。

自己の進路実現のために分からないところはいつでも担当者に質問に行き、苦手単元、苦手科目を克服してもらいたいと思います。今後も頑張る生徒を支援していきます。

お知らせとお願い

◆探究活動成果発表会

今年度一年間、地域の課題や魅力の発信に関して行ってきた探究活動「五日市メソッド」のまとめとして、成果発表会を次の日程で行います。お時間がありましら、ぜひ本校にお越しください。

三年生：一月十九日
アウトドア類型
マネジメント類型
：二月十七日
一年生及び二年生合同
：三月十八日

◆学校評価を実施中

本校は、地域に根差した学校、地域に貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒を目指して取り組んでおります。そのまとめとして、学校評価を行っております。頂いた御意見を真摯に受け止め、より良い学校を目指してまいります。左のＱＲコードからアクセスできますので、御回答頂けると幸甚です。

期限　一月三十一日

＜東京都立五日市高等学校が目指す生徒像＞
広い視野を持ちながら新しい社会に対応するとともに、地域貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒

発行者　東京都立五日市高等学校　校長　久保田　聡
住　所　〒190-0164　あきる野市五日市 894　電　話　042-596-0176　ファクシミリ　042-596-1250
URL：http://www.itsukaichi-h.metro.tokyo.jp/zen/index.html